

静岡市美術館「没後150年 歌川国芳展」 展示替予定表

後期展示:8月2日(火)~8月21日(日)

- ・都合により展示期間が変更する場合があります。ご了承ください。
- ・リストの番号はカタログ番号です。作品の展示順とは一致しません。

武者絵—みなぎる力と躍動感

1	西村屋版武者絵シリーズ「曾我箱王丸」	にしむらやばんむしやえしりーず そがのはこおまる
3	西村屋版武者絵シリーズ「源頼光」	にしむらやばんむしやえしりーず みなもとのよりみつ
5	三井寺合戦 新田四天王勇力	みいでらかつせん につたしてんのうゆうりき
8	「清盛入道布引滝遊覧悪源太義平霊討難波次郎」	きよもりにゆうどうぬのびきのたきゆうらんあくげんだよしひらのれいなんぼのじろうをうつ
9	堀川夜討	ほりかわようち
11	川口版武者絵シリーズ 望月三郎兼舎	かわぐちばんむしやえしりーず もちづきさぶろうかねいえ
12	川口版武者絵シリーズ「美家本武蔵」	かわぐちばんむしやえしりーず みやもとむさし
15	蔦屋版武者絵シリーズ「樋口治郎」	つたやばんむしやえしりーず ひぐちのじろう
17	「通俗水滸伝豪傑百八人の一個 九紋龍史進・跳洞虎陳達」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり きゆうもんりょうしん・ちようかんこちんたつ
19	「通俗水滸伝豪傑百八人の一個 清河縣之産武松」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり せいかけんのさんぶしょう
20	「通俗水滸伝豪傑百八人の壹人 浪裡白跳張順」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり ろうりはくちようちようじゆん
25	「通俗水滸伝豪傑百八人の一個 白花蛇楊春・神機軍師朱武・九紋龍史進・跳洞虎陳達」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり はくかじやようしゆん・しんきんしゆぶ・きゆうもんりょうしん・ちようかんこちんたつ
26	「本朝水滸伝豪傑百八人の一個 猪早太広直」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり いのはやたひろなお
27	「本朝水滸伝豪傑百八人の一個 早川鮎之助」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり はやかかわあゆのすけ
30	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 土喜大四郎元貞」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり どきたいしろうもとさだ
32	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 渡辺源二綱」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり わたなべのげんじつな
33	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 岩沼吉六郎信里」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり いわぬまきちろくろうのぶさと
36	西村屋版武者絵シリーズ「碓井又五郎飛弾山中二打大猿ヲ」	にしむらやばんむしやえしりーず うすいまたごろうひださんちゆうにおおざるをうつ
37	山口屋版武者絵シリーズ「出雲伊鷹」	やまぐちやばんむしやえしりーず いずものいまる
40	「坂田怪童丸」	さかたかいどうまる
44	「武勇百伝 木曾義仲」	ぶゆうひやくでん きそよしなか
45	「武勇百伝 鎮西八郎為朝」	ぶゆうひやくでん ちんぜいはちろうためとも
46	富士の巻狩	ふじのまきがり
48	「真田与市能久・侯野五郎景久」	さなだのよいちよしひさ・またののごろうかげひさ
49	「薩摩守平忠度」	さつまのかみたいらのただのり
53	「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」	みなもとのよりみつこうのやかたにつちぐもようかいをなすず
54	山平版武者絵シリーズ「新中納言知盛」	やまへいばんむしやえしりーず しんちゆうなごんとももり
55	山平版武者絵シリーズ「和田平太胤長」	やまへいばんむしやえしりーず わだへいだたねなが
60	「稚立功名鑑 鬼若丸」	おさなだちいさおしかがみ おにわかまる
61	「伊達模様血気競 金神長五郎」	だてもようけつきくらべ こんじんちようごろう
64	「源頼朝大仏供養之図」(国芳・広重合筆)	みなもとのよりともだいがつづくようのず(くによし・ひろしげがっぴつ)
65	仁田四郎、富士の人穴に入る	にたんのしろう、ふじのひとあなにはいる
66	「弁慶が勇力戯に三井寺の梵鐘を叡山へ引揚る図」	べんけいがゆうりきたわむれにみいでらのつりがねをえいざんへひきあげず
68	相馬の古内裏	そうまのふるだいら
69	宮本武蔵の鯨退治	みやもとむさしのくじらたいじ
70	「美盾八競 晴嵐」 宮本無三四	みたてはっけい せいらん みやもとむさし
72	「源頼朝卿室士牧狩之図」	みなもとのよりともきようふじまきがりのず
73	「忠臣義士高名競 三十四 木浦岡右工門奥行・堀淵寒左工門」	ちゆうしんぎしこうみょうくらべ さんじゆうし きうらおかえもんおきゆき・ほりぶちかんざえもん
74	「鏗鏘手練鍛の名刃 佐野治郎左工門」	さえたてのうちきたいのわざもの さのじろうざえもん
75	「鏗鏘手練鍛の名刃 大雲彦六鉄山」	さえたてのうちきたいのわざもの おおくもひころくてつざん
82	城四郎長茂空中に怪異を見る図	じょうのしろうながもちくうちゆうにかいいをみるず
86	「武田信玄諏訪頼重の陣中を打くづす図」	たけだしんげんすわよりしげのじんちゆうをうちくづすず
88	「源牛若丸僧正坊二随武術を覚図」	みなもとのうしわかまるそうじょうぼうにしがいがいぶじゆつをおほゆるず
89	「和都合戦義秀惣門押破」	わだがつせんよしひでそうもんをおしやぶる
91	「吉野山合戦」	よしのやまかつせん
93	「川中嶋合戦」	かわなかじまかつせん
95	「真勇競 きよ姫」	しんゆうくらべ きよひめ
97	「列猛伝 生丸丸」	れつもうでん しょうぶつまる
99	「程義経恋源一代鏡 三畧伝 大物浦」	ほどよしつねこのみなもといちだいがみ さんりやくでん だいまつうら
103	「和漢準源氏 蓬生 桃太郎」	わかななぞらえげんじ よもぎう ももたろう
105	「六様性国芳自慢 大安 怪童丸」	ろくようせいくによしじまん たいあん かいどうまる
106	「六様性国芳自慢 先負 文覚上人」	ろくようせいくによしじまん せんぶ もんがくしょうにん

説話—物語とイメージ

107	「周易八卦絵 巽風」	しゅうえきはつけえ そんぶう
108	「周易八卦絵 震雷」	しゅうえきはつけえ しんらい
111	地獄図	じごくず
113	「龍宮玉取姫之図」	りゅうぐうたまとりひめのず
117	「二十四孝童子鑑 王褒」	にじゅうしこうどうじかがみ おうほう
118	「二十四孝童子鑑 王褒」 校合摺	にじゅうしこうどうじかがみ おうほう きょうごうずり
119	「唐土廿四孝 姜詩」	とうどにじゅうしこう きょうし
120	「唐土廿四孝 朱寿昌」	とうどにじゅうしこう しゅじゅしょう
121	痲瘡絵 鍾馗	ほうそうえ しょうき
122	鍾馗	しょうき

役者絵—人気役者のさまざまな姿

126	三代目 中村歌右衛門の鬼一・三代目 尾上梅幸の牛若	さんだいめなむらうたえものきいち・さんだいめおのえはいこうのうしわか
128	三代目 尾上菊五郎の玉屋新兵衛・二代目 関三十郎の鶺鴒九十郎	さんだいめおのえきごろうのたまやしんべえ・にだいめせきさんじゅうろうのうかいじゅうろう
129	三代目 尾上菊五郎の彦惣・五代目 瀬川菊之丞の小金	さんだいめおのえきごろうのひこそう・ごだいめせがわきくのじょうのこきん
131	二代目 中村芝翫・二代目 関三十郎・二代目 岩井栄三郎	にだいめなむらしかん・にだいめせきさんじゅうろう・にだいめいわいめさぶろう
133	片岡市蔵の薩嶋伝蔵・沢村訥升の小平次・十二代目 市村羽左衛門の小松屋宗七	かたおかいちざうのさつしまでんざう・さわむらとつしょうのこへいじ・じゅうにだいめいちむらうざえものこまつやそうしち
134	二代目 岩井栄三郎のかつしかのお十・三代目 尾上菊五郎の木下川与右衛門・四代目 坂東三津五郎の渡し守浮世又平	にだいめいわいめさぶろうのかつしかのおじゅう・さんだいめおのえきごろうのきねがわのよえもん・よだいめぼんどうみつごろうのわたしもりうきよまたべえ
138	三代目 尾上栄三郎のお弓・五代目 松本幸四郎の直助・三代目 尾上菊五郎のお岩ぼうこん、小平ぼうこん、与茂七三役早替・五代目 市川海老蔵の神谷伊右衛門	さんだいめおのえいざぶろうのおゆみ・ごだいめまつもこうしろうのなおすけ・さんだいめおのえきごろうのおいわぼうこん、こへいぼうこん、よもしちさんやくはやがわり・ごだいめいちかわえびざうのかみやいえもん
139	五代目 市川海老蔵の民谷伊右衛門・三代目 尾上菊五郎のお岩亡霊	ごだいめいちかわえびざうのみみやいえもん・さんだいめおのえきごろうのおいわぼうれい
140	「大山良弁瀧之図」	おおやまろうべんたきのず
141	三代目 嵐吉三郎の佐藤政清	さんだいめあらしきさぶろうのさとうまさきよ
142	十二代目 市村羽左衛門の悪源太義平・四代目 中村歌右衛門の岩木三郎太夫広綱・二代目 市川九蔵の八町磔の鬼平次	じゅうにだいめいちむらうざえものあくげんだよしひら・よだいめなむらうたえもんのいわきさぶろうたいふひろつな・にだいめいちかわきゆうざうのはつちょうつづてのきへいじ
148	八代目 市川團十郎の将門子息將軍太良・坂東しうかの将門息女瀧夜刃姫・十二代目 市村羽左衛門の大宅太良光国	はちだいめいちかわだんじゅうろうのまさかどしよくんたろう・ぼんどうしゅうかのまさかどしよくんたきやしやひめ・じゅうにだいめいちむらうざえもんのおおやのたろうみつくに
149	五代目 市川海老蔵の石川五右衛門・五代目 沢村長十郎の大領久吉・三代目 関三十郎の奴矢田平	ごだいめいちかわえびざうのいしかわごえもん・ごだいめさわむらちょうじゅうろうのたいりょうひさよし・さんだいめせきさんじゅうろうのやつこやたへい
152	八代目 市川團十郎の濡髪長五郎・三代目 嵐璃寛の放駒長吉	はちだいめいちかわだんじゅうろうのぬれがみちょうごろう・さんだいめあらしりかんのはなれごまちょうきち
153	坂東しうかの橋本屋白糸	ぼんどうしゅうかのはしもとやしらいと
155	歌俳菜名所絵合	うたのしおりのめいしよえあわせ
156	五代目 市川海老蔵	ごだいめいちかわえびざう

美人画—江戸の粋と団扇絵の美

157	雪月花 月	せつげつか つき
158	雪月花 雪	せつげつか ゆき
161	「当流女諸礼躰方 はおりたゝみやう」	とうりゅうおんなしよれいしつけかた はおりたたみやう
164	「当盛美人合」	「とうせいびじんあわせ」
167	狂歌賛美人半身シリーズ 遊女	きょうかさびじんはんしんしりーず ゆうじよ
168	狂歌賛美人半身シリーズ 困い女	きょうかさびじんはんしんしりーず かこいおんな
169	狂歌賛美人半身シリーズ 軽子	きょうかさびじんはんしんしりーず かるこ
170	「当世三婦苦対」 湯帰り	とうせいさんぶくつい ゆがえり
172	「東海道五十三次之内 品川」	とうかいどうごじゅうさんつぎのうち しながわ
173	「渚の珠」	なぎさのたま
175	美人子ども十二月シリーズ 「端月の初卯」	びじんこどもじゅうにかげつしりーず たんげつのはつう
178	美人子ども十二月シリーズ 「清月の月」	びじんこどもじゅうにかげつしりーず せいげつのはつ
179	美人子ども十二月シリーズ 「菊月 祭礼」	びじんこどもじゅうにかげつしりーず きくづき さいれい
182	「子供諸芸躰方」 常磐津	こどもしよげいしつけかた としわづ
184	手すりにもたれる遊女	てすりにもたれるゆうじよ
186	雪だるまを作る美人	ゆきだるまをつくるびじん
187	道成寺	どうじょうじ
190	「四季心女遊 春」	しきのこころおんなあそび はる
191	「四季心女遊 夏」	しきのこころおんなあそび なつ
194	「江戸じまん名物くらべ 亀井戸のふぢ」	えどじまんめいぶつくらべ かめいどのふぢ
196	「大願成就有ヶ瀧纏」 文覚上人	だいがんじょうじゆありがたきじま もんがくしやうにん
197	「大願成就有ヶ瀧纏」 箱瓦丸	だいがんじょうじゆありがたきじま はこやまる
200	「すみ田川の夕桜」	すみだがわのゆうざくら
203	鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘	きょうめんしりーず ねことあそぶむすめ

204	鏡面シリーズ 口紅	きょうめんしりーず くちべに
207	「月日貝あたる友引」 手水鉢	つきひが貝あたるともびき ちょうずばち
208	「名酒揃 宮戸川」	めいしゅぞろい みやとがわ
211	「東都八景 日本橋の夕照」	とうとはつけい にほんばしのせきしょう
213	「江戸自慢程好仕入 よしのかんとう」	えどじまんとうせいじいれ よしのかんとう
216	「艶姿十六女仙 豊干禪師」	えんしじゅうろくじよせん ぶかんぜんじ
217	「金龍山おくやまの景」	きんりゅうざんおくやまのけい
218	両国夕景	りょうこくゆうけい
220	「暑中の夕立」	しよちゅうのゆうだち
221	「浮夜八会」 湯上り	うきよはっかい ゆあがり
222	「浮夜八会」 仲の町	うきよはっかい なかのちょう
228	「新吉原京町壹丁目角海老屋惣二階之図」	しんよしわらきょうまちいちちようめかどえびやそうにかいのず

子ども絵—遊びと学び

230	「子供遊金生水之堀抜」	こどもあそびきんじょうすいのほりぬき
231	「稚遊雪花月の内 雪」	おさなあそびせっかげつのうち ゆき
232	「稚遊雪花月の内 月」	おさなあそびせっかげつのうち つき
233	「稚遊雪花月の内 花」	おさなあそびせっかげつのうち はな
234	「子供遊土農工商 土」	こどもあそびのうこうしょうのうち し
235	「稚遊のうち 農」 代掻き	おさなあそびのうち のう しろかき
242	「子供諸礼儀方 膳にすハリやう・給仕のしやう」	こどもしよれいしつけかた ぜんにすわりやう・きゅうじのしやう
243	「子供諸礼儀方 屏風のたてやう・障子の明たてしやう」	こどもしよれいしつけかた びょうぶのたてやう・しょうじのあけたてしやう
246	「新板子供遊びの内 雪あそび」	しんばんこどもあそびのうち ゆきあそび
247	「新板子供遊びのうち ぼんぼんうた」	しんばんこどもあそびのうち ぼんぼんうた
251	「幼童席書会」	ようどうせきがきかい

風景画—近代的なアングル

253	「大山石尊良弁瀧之図」	おおやませきそんろうべんたきのず
254	「山海名産尽 肥前国伊万里焼」	さんかいめいさんづくし ひぜんのくにいまりやき
255	「山海名産尽 伊勢鯨」	さんかいめいさんづくし いせあわび
259	「東都宮戸川之図」	とうとみやとがわのず
260A	「東都御厩川岸之図」	とうとおんまやがしのず
260B	「東都御厩川岸之図」 (変り摺)	とうとおんまやがしのず かわりずり
263	「近江の国の勇婦於兼」	おうみのくにのゆうふおかね
266	「東都名所 浅草今戸」	とうとめいしょ あさくさいまど
268	「東都名所 佃嶋」	とうとめいしょ つくだじま
269	「東都名所 新吉原」	とうとめいしょ しんよしわら
272	「大山石尊大瀧之図」	おおやませきそんおおたきのず
274	「東都富士見三十六景 昌平坂の遠景」	とうとふじみさんじゅうろっけい しょうへいざかのえんけい
275	「東都富士見三十六景 新大はし 橋下の眺望」	とうとふじみさんじゅうろっけい しんおおはし きょうかのちようぼう
278	「相模州大住郡雨降大山全図」	さがみのくにおおすみごおりあめふりのおおやませんず

摺物と動物画—精緻な彫と摺

280	「風俗女水滸伝 百八番之内」 一絃琴	ふうぞくおんなすいこでん ひやくはちばんのうち いちげんきん
281	「風俗女水滸伝」 土器投げ	ふうぞくおんなすいこでん かわらけなげ
282	「風俗女水滸伝 百八番之内」 時計	ふうぞくおんなすいこでん ひやくはちばんのうち とけい
285	五代目瀬川菊之丞の女六部・五代目岩井半四郎の傾城	ごだいめせがわきくのじょうのおんなりくぶ・ごだいめいわいはんしろうのけいせい
286	捕手をとりひしぐ七代目市川團十郎	とりてをとりひしぐ しちだいめいちかわだんじゅうろう
289	豊干と虎	ぶかんととら
290	桜下の御殿女中 岩井紫若	おうかのごてんじよちゅう いわいしじゃく
294	花車 五節句賛	はなぐるま ごせつくさん
295	しんば連 魚かし連 市川三升へ送之	しんばれん うおがしれん いちかわさんじょうへこれをおくる
298	八代目市川團十郎追悼摺物 (国芳・三代豊国合筆)	はちだいめいちかわだんじゅうろうついでうすりもの くによし・さんだいとよくにがっぴつ
300	「禽獸図会 龍虎」	きんじゅうずえ りゅうこ
301	「禽獸図会 龍虎」 校合摺	きんじゅうずえ りゅうこ きょうごうずり
304	金魚に目高	きんぎよにめだか
305	えびざこ	えびざこ

戯画—溢れるウィットとユーモア

309	「流行達磨遊び」 手が出る足が出る	りゅうこうだるまあそび てがでるあしがでる
310	「流行達磨遊び」 蕎麦・首引き	りゅうこうだるまあそび そば・くびひき
312	「道外化もの夕涼」	どうけげものゆうすずみ
313	「道外獣の雨やどり」	どうけげものあまやどり
315	「流行猫の曲手まり」	りゅうこうねこのきよてまり

316	くつろぐ夏の猫美人たち	くつろぐなつのねこびじんたち
318	「狸ト狐の遊」	たぬきときつねのあそび
322	「絵鏡台合かゞ身」 猫／しし・みづく・はんにやあめん	えきょうだいあわせかがみ ねこ／しし・みみずく・はんにやあめん
323	「絵鏡台合かゞ身」 三福神／へび・かへる・まいまいつぶり	えきょうだいあわせかがみ さんぶくじん／へび・かえる・まいまいつぶり
324	「猫の当字」 ふぐ	ねこのあてじ ふぐ
326	「流行猫のおも入」	りゆうこねこのおもいれ
328	「似たか金魚」	にたかきんぎょ
330	「諸鳥やすうりづくし」	しよちょうやすうりづくし
332	「狐の嫁入図」	きつねのよめいりのず
333	「狸の川がり・狸の夕立」	たぬきのかわがり・たぬきのゆうだち
334	「さむがり狸・初午のたぬき」	さむがりたぬき・はつうまのたぬき
335	「百亀家久 かるわざ・四天王の見立」	ひゃっきやききゅう かるわざ・してんのうのみたて
338	「金魚づくし いかだのり」	きんぎょづくし いかだのり
342	「朝比奈三郎義秀小人ま遊」	あさひなさぶろうよしひでこびとじまあそび
343	「朝比奈義秀小人遊」	あさひなよしひでこびとあそび
345	「開運出世合縁七福神」	かいうんしゅつせがたいしちふくじん
346	「ばかでほんひやうきんぐら 十一段目上・馬鹿手本票軽ぐら 十一段目下」	ばかでほんひやうきんぐら じゅういちだんめうえ・ばかでほんひやうきんぐら じゅういちだんめした
349	「藤次流行思ひの竹沢 さらまわし」	とうじりゆうこおもひのたけざわ さらまわし
354	「里すぢめねぐらの仮宿」	さとすぢめねぐらのかりやど
355	「龍宮遊さかなげいづくし」	りゆうぐうあそびさかなげいづくし
360	「みかけハコハゐがとんだいゝ人だ」	みかけはこわいがとんだいいひとだ
362	「たとゑ尽の内」	たとえづくしのうち
363	「其面影能写絵 おかづり／ゑびにあかがひ」	そのおもかけほどよくつしえ おかづり／えびにあかがひ
365	「其面影能写絵 弁けい／たいこもち」	そのおもかけほどよくつしえ べんけい／たいこもち
368	「つくものけん」	つくものけん
369	「竹沢梅升藤治 三曲拳」	たけざわばいしょうとうじ さんきよくけん
370	「荷宝蔵壁のむだ書」 黄腰壁	にたからぐらかべのむだがき きょうへき
373	「名誉右に無敵左り甚五郎」	めいよみぎにてきなしひだりじんごろう

風俗・娯楽・情報

376	「飛驒匠柱立之図」	ひだのたくみはしらだてのず
381	「江戸の花一流曲独楽 金毛九尾三国渡 竹沢藤次」	えどのはないちりゆうきよくごま きんもうきゆうびさんごくわたり たけざわとうじ
382	「江戸の花一流曲独楽 於岩稲荷怪談廻 竹沢藤次」	えどのはないちりゆうきよくごま おいわいなりかいたんまわし たけざわとうじ
383	「勇国芳桐対模様」	いさましきくによしきりのついでもよう
385	「於竹大日如来の由来」	おたけだいにちによらいのでん
386	「奪衣婆と翁稲荷の首引」	だつえぼとおきないなりのくびひき
389	「大空武左衛門」	おおぞらぶさえもん
390	「生月鯨太左工門」	いけづきげいたざえもん
392	「相撲年寄 六代目雷権大夫 八十三才」	すもうとしより ろくだいめいかづちごんだゆう はちじゅうさんさい
394	「大漁鯨のにぎわひ」	たいりょうくじらのにぎわい
395	「福神恵方あそび」	ふくじんえほうあそび
396	「叶福助 年の市まうでの図」	かのうふくすけ としのいちもうでのず
399	「当盛見立人形之内 象の仙人」	とうせいみだてにんぎょうのうち くめのせんしん
401	「春遊び陽気すご六」	はるあそびようきすごろく
403	「豪傑水滸伝双六」	ごうけつすいこでんすごろく
405	「落合芳幾画 国芳死絵」	おちあいよししくが くによししにえ

肉筆画・板木・版本ほか

407	美人大首	びじんおおくび
409	遊女道中図	ゆうじょどうちゆうず
411	夏衣美人図	なつごろもびじんず
412	白拍子図	しらびょうしず
415	「誠忠義士伝 三十六 矢多五郎右衛門祐武」板木	せいちゆうぎしでん さんじゅうろく やたごろうえもんすけたけ はんぎ
416	「誠忠義士伝 三十六 矢多五郎右衛門祐武」	せいちゆうぎしでん さんじゅうろく やたごろうえもんすけたけ
417A	宇治川合戦 佐々木四郎高綱 板木(表)	うじがわかつせん ささきしろうたかつな はんぎ おもて
417B	宇治川合戦 佐々木四郎高綱 板木(裏)	うじがわかつせん ささきしろうたかつな はんぎ うら
418A	「みかけハコハゐがとんだいゝ人だ」板木	みかけはこわいがとんだいいひとだ はんぎ
418B	「みかけハコハゐがとんだいゝ人だ」新摺品	みかけはこわいがとんだいいひとだ しんずりひん
419	『稗史水滸伝』	えほんすいこでん
420	『七ツ組入子枕』	ななつぐみいれこまくら
421	書簡	しょかん